

明治大学校友会 東京都多摩支部
多摩市地域支部
紫紺



(第15号)



発行 明治大学校友会東京都多摩支部多摩市地域支部 発行日 令和3年2月1日
発行人 中山雅雄 住所 多摩市連光寺6-27-11 Tel/Fax 042-339-1681



令和3年元旦 河口湖畔から富士山を仰ぐ 矢場(S43商)撮影

支部長新年のご挨拶

〓 新年を迎えて〓

支部長 中山 雅雄
(S37年法)

令和三年の新年を迎えられましたこと心よりお祝い申し上げます。昨年とは新型コロナウイルス感染症拡大という大変な年であり、新年になってもその猛威は終止することなく自粛生活を送らねばならない事態

になっております。一日も早く終息することを願うばかりであります。このコロナ禍により校友会諸活動においては、総会をはじめとし、すべての活動を中止せざるを得ない事態に至っております。

私たち多摩市地域支部も平成25年5月設立されこの4月をもって、設立後満八年を迎えることになりましたが、校友会会員の相互親睦と校友活動を通して校友会発展、地域社会への貢献を目標に、さくらを築きむ会、カラオケ会、近郊へのハイキング、諸施設への見学会、地元校友農家へのタケノコ掘りなど楽しい企画をもってこれまでも数々の活動を行ってまいりました。

新年を迎えるにあたって、今年こそ次の目標を主眼に置き、校友活動を展開したいと思っております。

第一は校友数の拡大です。この多摩市地域には約千百名余の校友がおられますが、校友会に入会していただいている校友は現在 85名ということになっております。校友会といたしましてはできるだけ多くの校友に入会していただき校友会の発展を図ることが、一番の使命と考えております。

この課題に対処すべく、校友各位のご自宅に、これまでの活動をカタ

ログに載せわかりやすく楽しい案内書をもって訪問を行っているところですが、面談時には関心を持って聞いてもらえるのですが、その後入会のご返事がいただけないのが実情であります。校友会の魅力と楽しさをもつて校友拡大に力を注ぎたく思っております。

まずは校友の10パーセント、少なくとも百名の校友会組織にいたしたく全力を注ぎたいと思っております。

第二にメイン活動の定着です。平成31年1月に地域社会への貢献の一環として開催しましたマンドリン倶楽部の演奏公演ですが、校友はもとより地域住民の皆さんのご参加により大変な好評をいただきました。二回目は会場の改築工事のため見送りとなりましたが、当地域支部のメイン活動の一つとして今後の定期開催を検討したいと思っております。

支部設立十周年を迎える二年後には、この大きな目標が達成され名実ともに校友の皆様が生まれ、充実した支部にしたいと思います。

どうか今後とも多摩市地域支部の発展に校友の皆様からのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年を迎えてのご挨拶いたします。

活動報告

第6回歩こう会

「日本の宇宙開発を担うJAXA 相模原キャンパスを見学」

明大多摩市地域支部主催

令和2年2月22日(土) JAXA (独立行政法人宇宙研究開発機構)を見学に行きました。

朝方、京王相模原線「橋本駅」改札に集合し、JR横浜線で淵野辺駅に移動して、そこで路線バスに乗り換え、JAXA相模原キャンパスに到着しました。到着後、月に数回開催される約一時間の解説ツアーに参加して、職員から詳細な説明を受けることができました。JAXAは、平成三年に宇宙科学研究所、航空宇宙技術研究所及び宇宙開発事業団の二者が統合された組織です。宇宙開発は探査機とそれを打ち上げるロケットで行われるのですが、JAXAのロケットは、H-IIA、H-IIBロケットにより行われてきていて、いずれも二段式ロケットとなっています。それにより数多くの探査機が打ち上げられてきました。

説明は、専門的で難しいものですが、日本の宇宙開発技術が高いレベルにあるにすることが理解できました。



歩こう会に参加した皆さん

ベルにあるにすることが理解できました。

見学後、橋本駅近くの寿司店で安く美味しい昼食を食べ、解散しました。参加者は、伊東さん、伊東さんの知人(校友)、坂本さん、鈴木さん、中山さん、藤川さん、茂木さん、菊池の八名でした。

(S 42 経営 菊池武信)

会員活動便り

一、「たのしいまちづくり」

に関わって

榑つきみさん(当地域支部副支部長・S 53年商)が多摩市教育委員会表彰を授賞されました。誠におめ

でとうございます。

多摩市教育委員会は令和2年11月24日、多摩市役所で「令和2年度上半期多摩市教育委員会表彰」の授賞式を行い、榑つきみさんの功績を称え表彰しました。

「公民館通信たのしいまち」の編集委員として取材・編集・発行に携わり永きにわたりボランティアとして公民館事業に協力され、情報発信・地域活性化に大きく貢献したことが評価されたものです。

誠におめでとうございます。益々のご活躍を期待いたします。

寺島忠昭 (S 41 経営) が取材

多摩市公民館通信「たのしいまち」作りに関わって23年。表紙の「人♡ネットワーク」を担当するようになって、いつしか15年経つたとのこと。取材した方の活動とお人柄を読者の皆様にお伝えしたいと奮闘していらっしやいます。それでは、日頃の取り組みなどを、「榑つきみ」取材形式で紹介してもらいました。

* * *

「文章を書くのは得意?」「得意かどうか??ですが、嫌いではありません。」—そのような会話から、ボランティアの編集委員になった。

きっかけは第一子が小6のときの小学校PTA活動。そこで関わった外



表彰状授与 (一番右が榑氏)

部組織に公民館通信編集委員がいた。先の会話はその時のもの。1998年のことで、第四子が幼稚園入園前だったと懐かしそうに笑う。

「たのしいまち」は現在、隔月発行。公民館職員2名と市民委員3人の5人で取材と編集をする。全6ページのうち表紙と6ページの内容はほぼ固定しており、2・3ページは公民館情報、4・5ページを「市民のページ」として様々な企画を練り、今年度は市内の公園を特集している。この「市民のページ」の編集などは職員の方々と協力し合って進めているが、原稿を書く場合はペンネームが入っているようだ。

表紙の作成については、原稿執筆と編集を一人でこなす。取材には全

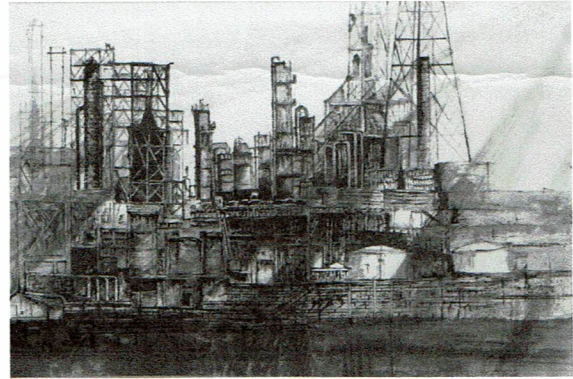
員で対応し、聴き取った言葉と情報をマイ手帳にメモ。殴り書きの箇条書きなので、後で読み解くのに本人ですら苦労すると大笑い。だが、原稿を起すのは何日も経ってからだという。その人の「人となり」を伝えるために、記憶に濃淡をつける日数が必要だと言ひ、色褪せない言葉と印象を文字に起こしているそうだ。活動内容と人柄が読者に伝わるよう、さらにご本人にエールをお届けできるように言葉と単語選びにも時間をかけ、読者としての自分が納得するまで、何度も何度も読み返しているという。

最後に、「たのしいまち」に関わってきた感想を尋ねた。毎回の原稿仕上げに苦しみながらも、素晴らしき出会いをいただき、様々な分野に関わる数多くの方々のお話を直に聞くことができた嬉しそう。一方、特別な仕事をしたわけでも成果を出したわけでもない伏し目がちに言う。…いえいえ、されど23年。「継続は力なり」。その言葉を贈りたいと思った。(S 53商 榊つきみ)

二、水墨画「夕照」によせて

私は水墨画をはじめて13年になります。昨年東京都美術館で開催

された、現代水墨画協会に出展した作品が、文部科学大臣賞を受賞することが出来ました。



受賞作品 『夕照』

作品名は「夕照」ですが、この京浜工業地帯は歴史も古く、かなり古びた情景が夕陽の中にたたずんでいる、そんな姿を描いてみたいと思っただのです。

授賞式も上野で行われ、大変名譽あるもので、身に余る光栄を感じました。(S 41法 榎田茂美)

TOPIX (明大広報紙から)

一、2020 明早戦 12月6日(日)

秩父宮ラグビー場にて伝統のラグビー明早戦が行われました。対抗戦6戦全勝の早稲田と5勝1敗の明治との直接対決。前半は、明治の強力フォワード陣の攻撃で3つのトライを重ねて21対7として折り返し、後半は、得意のスクラムやモールを生かしてリードを広げて、結果34対14にて明治が勝利。両校6勝1敗で勝ち点24で並びましたが、大会規定の「当事校の直接対決」により最終戦で勝利した明治がAグループ1位となり2年連続の優勝を果たしました。対抗戦は全日程を終了し、上位5校(明大、早大、慶応大、帝京大、筑波大)が、ラグビー全国大学選手権へ進むこととなりました。

明大 34	21	7
13	7	

14 早大

二、第97回箱根駅伝 1月2日(土)

東京箱根間往復大学駅伝競争が行われました

明治は、往路1区で17位と出遅れたが、4区で14位まで順位を巻き返し、山登り5区をそのまま14位でフィニッシュ。

復路は、粘り強い走りですぐに順



明治 前へ!



各大学一斉に箱根路へ

位を上げて8区で12位、9区で11位とし、最終10区で前を行く東京国際大とゴール直前までデッドヒートを繰り返すが、ラストスパートをかけた東京国際大に追いつけず、26秒差で総合順位11位となりシード権を守ることができませんでした。来年は予選会からのスタートとなりました。

三、和泉キャンパス建替事業

和泉キャンパスにおける教室数の不足や教育施設の老朽化、さらには社会の激しい変化に対応し、総合的な基盤である「教養教育」を展開する(場)の創出に向け、「和泉キャンパス新教育棟(仮称)整備計画」がこのたび始動した。

8月に和泉キャンパス新教育棟(仮称)整備計画設計プロポーザル(技術提案書選定方式)を実施し、

その後の審査委員会で、(株)松田平田設計を最優秀者に選定。9月12日開催の理事会を経て、25日開催の評議員会で正式に決定した。

本学建築学科の創始者でもある建築家の堀口捨己氏設計による第二校舎および第三校舎の老朽化とバリアフリー問題が建替の大きな課題でしたが、本整備計画は、(1)第二校舎の堀口捨己氏設計の精神と外観の継承を図り、その思想を先進的教育環境として発展させ新たな「学びの場」を生み出した点、(2)学生の学修や居住環境を考慮し、グループボックスなどの新しい教育空間を積極的に取り入れ、学生を主体とした点、(3)キャンパス内の調和や透明感のある外観により、新しい校舎内での学生の活動を可視化することで、シンボル性を表現した点などが高く評価された。選定された(株)松田平田設計は、2011年度



新教育棟完成予想図!

和泉図書館の建設に携わるなど実績がある。今回は、本学OBを中核とした設計チームを成し、さらに堀口捨己イブムの継承に向けて、日本建築家協会賞はじめ各著名賞を受賞している新進気鋭の建築家・中村拓志氏(1999年理工学研究科博士前期課程修了)が協力者として参画する。

今後は、さまざまな学内部署との協議を経て具体的な建物デザインを決定していく予定。

(S 63工 峯岸正己)

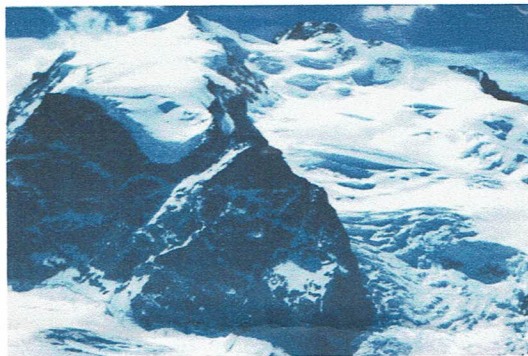
趣味

水彩画を描くシリーズ⑫



凍れる朝 (長野県)
中山雅雄 (S37法)

会員ギャラリー
自慢の一葉⑮



ヨーロッパアルプスの山
鶴田勇雄 (S37法)



トキ (佐渡市)
矢場岩男 (S43商)

会員の動静

(順不同・敬称略)

新入会員 なし
退会者

- 金野義勝 (S 40文)
- 徳田孝蔵 (S 45政経)
- 野村光芳 (S 31政経)

物故者
菊田正俊 (S 34法)

ご逝去を悼み衷心よりお悔やみ申し上げます。

会員数 85名 (令和3年1月現在)

会員相互の動静もお知らせください。

編集後記

▽前号より始まった当地域支部顧問・岩淵義郎氏の人生の歩みを振り返る「我が人生の軌跡」及び今村隆正氏の「写真講座シリーズ」は、新型コロナウイルス蔓延防止のため、残念ながら休載とさせていただきます。あしからずご容赦ください。次回を楽しみにお待ちしております。

▽コロナのため、会員各位の活動もままならず、今号は4ページの構成といたしました。皆様からの投稿を心よりお待ちしております。

▽新型コロナウイルス感染には、くれぐれもお気をつけください。(高)